セミの抜け殻調査報告書2010

調査者(団体)名:　NACS－J自然観察指導員大阪連絡会　　担当:杉本　博

調査実施場所:　居住地周辺の緑地
住所:大阪府寝屋川市三井が丘1丁目5番付近

調査場所の環境:

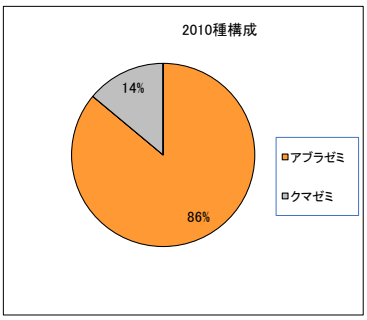
	クリックして選択
周辺の環境	その他
調査場所の様子	個人宅庭
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉

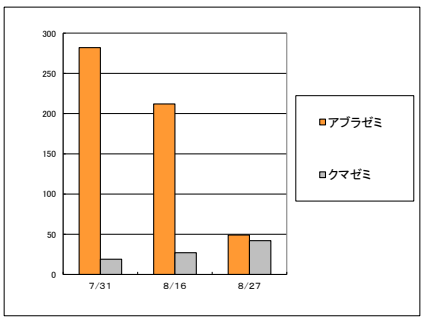
主な植生:クスノキ、ケヤキ、ソメイヨシノ、ヒラドツツジ、サツキツツジ、マサキ、カイヅカイブキ、サンゴジュ、ウバメガシ、エノキ

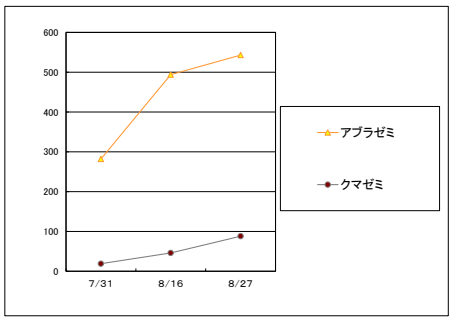
調査結果:　部分は自動計算されますので入力しないでください。　ニイニイゼミの♂♀識別は不要(任意で入力できます)

調査日	7/31					8/16					8/27					計			
調査時間	9:00～10:30					9:00～10:30					9:00～10:30								
調査参加人数	6					3					2								
天気																			
	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	♂	♀	不明	計
ニイニイゼミ	○				0					0					0	0	0	0	0
ミンミンゼミ					0					0					0	0	0	0	0
アブラゼミ	○	162	120		282	○	98	114		212	○	22	27		49	282	261	0	543
ツクツクボウシ					0	○				0	○				0	0	0	0	0
ヒグラシ					0					0					0	0	0	0	0
クマゼミ	○	7	12		19	○	11	16		27	○	30	12		42	48	40	0	88
					0					0					0	0	0	0	0
					0					0					0	0	0	0	0
不明					0					0					0	0	0	0	0
計		169	132	0	301		109	130	0	239		52	39	0	91	330	301	0	631

気づいたこと・感想など:ニイニイゼミは早くから出現し、調査時点では抜け殻が見あたらなかった。クマゼミが案外少なかった。
ニイニイゼミの初鳴き:7月5日　クマゼミの初鳴き:7月4日　アブラゼミノ初鳴き:7月9日　ツクツクボウシの初鳴き:8月1日　ミンミンゼミ(8月13日に1頭のみ鳴く)







セミの抜け殻しらべ　2011

調査日	2011年7月23日～8月31日	
時間	10:00　～　11:00	
天気・気温	天気　晴れ	気温:平均32℃
都道府県名	大阪府	
調査地名	寝屋川三井が丘	
サイト名	三井が丘	
周辺の環境	平地	
調査場所の様	個人宅庭	
調査場所の地	下草・落ち葉がまばら	

調査地の主な樹木:サクラ、ケヤキ、クス、キョウチクトウ、サツキ、ヒラドツツジサンゴジュ、エノキ、マサキ、カイヅカイブキ、ウバメガシ

声のみを聞いたセミ:ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ、ﾂｸﾂｸ

主担当者:杉本　博

参加者:付近の子ども達

種	♂・♀	7月23日	8月17日	8月31日			合計
ニイニイゼミ	不明						
	♂	4	2	0			
	♀	2	2	0			10
ミンミンゼミ	不明						
	♂						
	♀						0
アブラゼミ	不明						
	♂	180	243	118			
	♀	54	241	71			907
ツクツクボウシ	不明						
	♂						
	♀						0
ヒグラシ	不明						
	♂						
	♀						無
クマゼミ	不明						
	♂	59	62	8			
	♀	31	70	6			236
	不明						
	♂						
	♀						

水色部分は、調査日、調査サイトで分けるなど自由にお使いください

メモ:
例年に較べ梅雨明けが早かったことから、７月１６日には「羽化」の観察会第１回目を行った。３２頭のアブラゼミが出現。寝屋川三井が丘のﾌｨｰﾙﾄﾞは昭和４５年頃に里山を開発した丘陵地で、中層住宅を中心とした団地である。団地内の一部には里山を残した公園整備がされているもののほとんどが造成時に植樹された木々で構成されている。また、古き良き時代の団地づくりだろうか、建ぺい率が１５％と緑地が豊かで、築後４０年が経過した樹木はかなりの大木になっている。大阪都心部ではクマゼニが多い中、当フィールドではアブラゼミが中心種である。ミンミンゼミが今年も１頭のみ団地内で鳴く声を聞くものの、抜け殻は見つけられなかった。９月に入って、クマゼミは見事に居なくなりわずかなアブラゼミノ鳴き声の中、ツクツクボウシがメインとなっている。残念ながらツクツクボウシの抜け殻も見あたらない。なお、大阪府では１２種のセミが確認されているが、当フィールドでは報告の５種しか確認（鳴き声含む）されていない。